Ⅲ 財務諸表（要約版）

1 貸借対照表

（単位：百万円）

資産の部	金額	負債の部	金額
固定資産	31,384	固定負債	32,922
有形固定資産	28,224	資産見返負債	948
無形固定資産	63	長期借入金	7,404
投資その他の資産	3,097	移行前地方債償還債務	18,379
流動資産	7,499	引当金	6,155
現金・預金	3,818	長期リース債務	36
未収金	3,504	流動負債	5,570
貸倒引当金	▲ 60	1年以内返済予定長期借入金	857
医薬品等	202	1年以内返済予定移行前地方債債務	1,492
その他	35	1年以内返済予定リース債務	34
		未払金	2,481
		賞与引当金	566
		その他	141
		負債合計	38,493
		純資産の部	金額
		資本金	306
		利益剰余金	85
		純資産合計	390
資産合計	38,883	負債・純資産合計	38,883

2 損益計算書

（単位：百万円）

科目	金額	計画	平成24年度
経常収益(A)	22,533	23,239	22,225
医業収益	16,460	17,217	16,250
介護老人保健施設収益	405	414	412
運営費負担金収益	5,100	5,100	5,100
その他経常収益	568	507	463
経常費用(B)	22,520	22,901	21,892
医業費用	20,696	21,042	20,088
給与費	11,029	11,288	10,800
材料費	4,125	4,307	4,114
減価償却費・資産減耗費	2,396	2,289	2,304
経費	3,062	3,073	2,797
研究研修費	84	85	71
雑支出	-	-	2
介護老人保健施設費用	427	455	429
一般管理費	369	376	346
財務費用	615	622	647
その他経常費用	414	406	383
経常損益(A-B)	14	338	333
臨時損益(C)	▲ 60	▲ 34	▲ 265
当期純損益(A-B+C)	▲ 47	304	68

3 キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー(A)	2,448
医業等収入によるキャッシュ・フロー	16,854
運営費負担金収入によるキャッシュ・フロー	5,100
医業業務活動収入によるキャッシュ・フロー	193
人件費及び材料費によるキャッシュ・フロー	▲ 15,861
その他の業務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 3,222
利息の支払額	▲ 616
II 投資活動によるキャッシュ・フロー(B)	▲ 5,132
III 財務活動によるキャッシュ・フロー(C)	▲ 310
IV 資金減少額(D=A+B+C)	▲ 2,994
V 資金期首残高(E)	3,812
VI 資金期末残高(F=D+E)	818

4 行政サービス実施コスト計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額
I 業務費用	5,492
損益計算書上の費用	22,587
(控除)自己収入等	▲ 17,096
II 引当外退職給付増加見積額	32
III 機会費用	3
IV 行政サービス実施コスト	5,527

(参考) 財務諸表の科目の説明

1 貸借対照表

固定資産

- 有形固定資産・・・土地、建物、医療用器械など
- 無形固定資産・・・ソフトウェア、電話加入権など
- 投資その他の資産・・・修学資金貸付金など

流動資産

- 現金及び預金・・・現金、預金
- 未収金・・・医業収益に対する未収金など
- 貸倒引当金・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため回収不能見込額を引当
- 医薬品等・・・医薬品、診療材料、貯蔵品の期末棚卸在庫
- その他・・・前払保険料、賃借料の前払いなど

固定負債

- 資産見返負債・・・償却資産に充当した補助金等相当額
- 長期借入金・・・県からの借入金
- 移行前地方債償還債務・・・法人移行前に借り入れた地方債の償還債務額
- 引当金(退職給付引当金)・・・将来支払われる退職給付に備えて設定される引当金
- リース債務・・・リース取引に係る債務

流動負債

1年以内返済予定長期借入金・・・長期借入金のうち1年以内に支払期限が到達する債務
1年以内返済予定移行前地方債償還債務・・・移行前地方債償還債務のうち1年以内に支払期限が到達する債務

未払金・・・・・・・・・・医業費用等及び器械・備品など償却資産に係る未払債務
1年以内支払予定リース債務・・・リース債務のうち1年以内に支払期限が到来する債務
未払費用・・・・・・・・1年以内返済予定移行前償還債務及び長期借入金に係る未払利息
賞与引当金・・・・・・・・支給対象期間に基づき定期的に支給する役員及び職員賞与の引当金
その他・・・・・・・・預り金、仮受金など

純資産

資本金・・・・・・・・・・設立団体である県からの出資金
利益剰余金・・・・・・・・業務に関連して発生した剰余金の累計額

2 損益計算書

医業収益・・・・・・・・・・医業（入院診療、外来診療など）に係る収益
介護老人保健施設収益・・・介護老人保健施設の営業活動に係る収益
運営費負担金収益・・・・高度医療、政策医療等に要する経費に係る県の負担金
その他の経常収益・・・・補助金収益、資産貸付収益など
医業費用・・・・・・・・・・医業（入院診療、外来診療等）に要する給与費、材料費、委託費、減価償却費、研究研修費など
介護老人保健施設費用・・・介護老人保健施設の営業活動に係る費用
一般管理費・・・・・・・・本部組織に係る給与費、経費など
財務費用・・・・・・・・借入金の支払利息
その他の経常費用・・・・控除対象外消費税など
臨時損益
臨時損失・・・・・・・・・・減損損失などに係る費用

3 キャッシュ・フロー計算書

業務活動に係るキャッシュ・フロー
医業等収入によるキャッシュ・フロー
・・・・・・・・医業及び介護老人保健施設の営業活動に係る収入
運営費負担金収入によるキャッシュ・フロー
・・・・・・・・県からの運営費負担金に係る収入
医業業務活動収入によるキャッシュ・フロー
・・・・・・・・国、県等からの補助金、寄付金など
人件費及び材料費によるキャッシュ・フロー
・・・・・・・・人件費、医薬品等の材料費購入に係る支出
その他の業務活動によるキャッシュ・フロー
・・・・・・・・上記以外の業務活動に係る収入、業務活動に係る支出
投資活動によるキャッシュ・フロー
・・・・・・・・固定資産の取得、除却に係る支出など
財務活動によるキャッシュ・フロー
・・・・・・・・長期借入れによる収入、移行前地方債償還債務の償還による支出など

4 行政サービス実施コスト計算書

業務費用

損益計算書に計上される費用から医業収益などの自己収入を控除したもの

引当外退職給付増加見積額

事業年度末に在籍する県からの派遣職員について、期末の自己都合要支給額から期首の自己都合要支給額を控除したもの

機会費用

県からの出資額を一定の利回りで運用した場合に想定される利息相当額等

IV 財務諸表の要点

1 財務諸表の概況

(経常収益)

平成25年度の経常収益は22,533百万円と、前年度と比較して308百万円増加しました。主な理由は、次のとおりです。

(1) 医業収益が、前年度に比較して210百万円増加したこと

- ・ 須坂病院において平成22年9月から休止が続いていた7階病棟を一部再開したこと、阿南病院の内科常勤医が1名増えたこと、こども病院で運用病床を10床増床したことなどから入院患者が増加し、入院収益が増加しました。また、こころの医療センター駒ヶ根、木曾病院は、患者数が減少しましたが、一人当たり診療単価が増加し、入院収益は増加しました。

外来については、こころの医療センター駒ヶ根、こども病院では患者数が増加したものの、他の3病院で減少したことと阿南病院で院外処方を開始したことにより診療単価が大幅に減少し、収益は減少しました。

(2) 補助金収益等が105百万円増加したこと

- ・ 信州木曾看護専門学校の開設準備、こども病院において県から先天性代謝異常検査の事業を受託したことなどにより補助金や受託事業収益等が増加しました。

(経常費用)

平成25年度の経常費用は22,520百万円と、前年度と比較して627百万円増加しました。主な理由は、次のとおりです。

(1) 医業費用が前年度に比較して608百万円増加したこと

- ・ 須坂病院の病棟一部再開、こども病院の運用病床増のための看護師増員やこころの医療センター駒ヶ根、木曾病院では医師等の増加により給与費が増加しました。
- ・ 阿南病院の新病院完成、有形固定資産の残存価額の変更などにより減価償却費が増加しました。
- ・ 阿南病院の電子カルテの保守委託、こども病院の修繕の増などにより、経費が増加しました。

(2) 信州木曾看護学校開設準備のため、一般管理費が22百万円増加したこと

(損益)

平成25年度の経常損益は14百万円の経常利益となり、前年度の経常損益を319百万円下回りました。

また、阿南病院の改築に伴って寄贈された美術品の受贈益、旧病棟等の解体費用などに係る臨時損益▲60百万円を計上した結果、当期純損益は、47百万円の純損失となりました。

(資産)

平成25年度末の資産合計は38,883百万円と、前期末と比較して255百万円の増加となりました。これは、減価償却費が2,460百万円生じた一方、阿南病院の耐震化整備事業完了及び電子カルテ導入、こども病院超電導磁気共鳴診断装置導入等に伴い有形固定資産が3,574百万円増加、未収金が151百万円減少し、定期預金を含む現金預金が506百万円増加したことが主な要因です。

(負債)

平成25年度末の負債合計は38,493百万円と、前期末と比較して302百万円の増加となりま

した。これは、移行前地方債償還債務が1,690百万円、リース債務が75百万円それぞれ減少した一方、建設改良事業による長期借入金が1,508百万円、信州木曾看護専門学校整備に係る補助金等により資産見返補助金等が151百万円、未払金が400百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

2 施設等投資の状況

(資本的収支状況)

(単位：百万円)

項目		平成25年度 実績(a)	平成25年度 計画(b)	実績-計画 (a)-(b)	備考
収入	長期借入金	2,091	2,105	△ 14	
	その他収入	203	118	85	
	計	2,294	2,223	71	
支出	建設改良費	2,267	2,292	△ 25	
	うち 施設整備事業	650	663	△ 13	
	うち その他建設改良事業	330	337	△ 7	
	うち 医療機械等整備事業	1,287	1,292	△ 5	
	貸付金	57	74	△ 17	
	移行前地方債償還債務元金償還金	1,690	1,670	20	
	長期借入金元金償還金	583	583	0	
	計	4,597	4,619	△ 22	

(1) 主な施設整備事業

阿南病院耐震化整備事業   平成25年度決算額   650百万円

(2) 主なその他建設改良事業

阿南病院   新棟（電気・冷暖房・給排水衛生）工事
 木曾病院   看護師宿舎改修工事
 こども病院   北棟給湯配管更新工事
 木曾看護老人保健施設   防災設備等更新工事

(3) 主な医療器械等整備事業

須坂病院   多用途透析用監視装置
 阿南病院   電子カルテシステム
 木曾病院   全身用X線CT装置
 こども病院   超電導磁気共鳴診断装置